

整理番号 27

実施年度

令和5年度（事業期間 令和5年5月～令和6年3月）

事業名

3D都市モデルを活用した中心市街地における歩行者ルートの検討

提案者

鉾田市

課題及びねらい

鉾田市では、まちづくりのひとつとして新鉾田駅から地元高校とを結ぶ歩道整備を検討している。計画地は起伏が大きい地形のため計画図等では整備後のイメージが難しいことから、国土交通省の3D都市モデルを活用したVRによる整備イメージを作成し、地元や歩道利用者などと円滑な合意形成を図る。

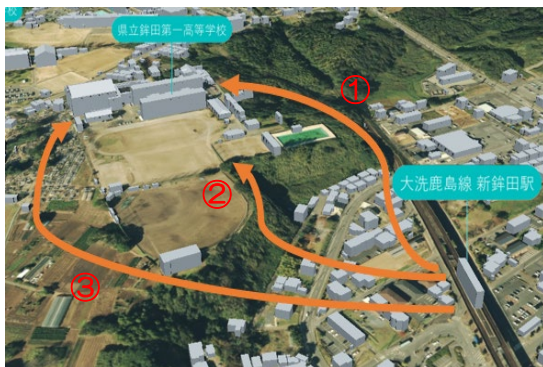
期待される効果

- ・VR画像による説明や体験により分かりやすいイメージを提供し、関係者間の円滑な調整を促す。
- ・事業化した際には、工事への理解や、円滑な工事進捗が期待できる。

実施概要

- ・3本の歩道整備候補ルートについてVRデータを作成
- ・作成したVRを活用し、主な歩道利用者となる地元高校生とワークショップを開催し意見を聴取

3本のルート案



VR画像

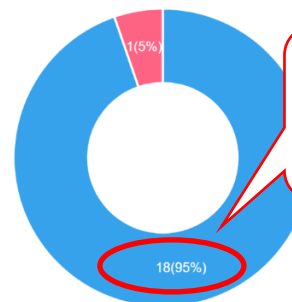


地元高校でのワークショップ



Q8：新たな歩行者道のVRを使った検討は、改善案や意見を出す上で有効でしたか？

とてもそう思う 18(95%)
そう思う 1(5%)



改善案や意見を出す上で
VRによる検討が有効か？
「とてもそう思う」95%

アンケート結果の一例

検証結果

- ・ワークショップ参加者にVRは好評で、参加者からは図面提示のみでは得られないであろう意見も多く出され、計画時におけるVR活用の有用性を確認することが出来た。